

守山まるごと活性化プラン検討委員会
第4回 学区別会議（速野学区）

日時：平成25年9月22日（日）

13：00～15：00

場所：速野会館

次 第

1. あいさつ
2. 説明
 - 本日の進め方
 - 第3回検討結果の説明
3. 意見交換（テーブル毎に）
 - 前回のふりかえり
 - 学区のまちづくりの取り組みを考える
4. 結果の発表・共有
5. 次回の予定など

守山まるごと活性化プラン検討委員会（学区別会議）委員名簿

【 速野学区 】

H250922 現在

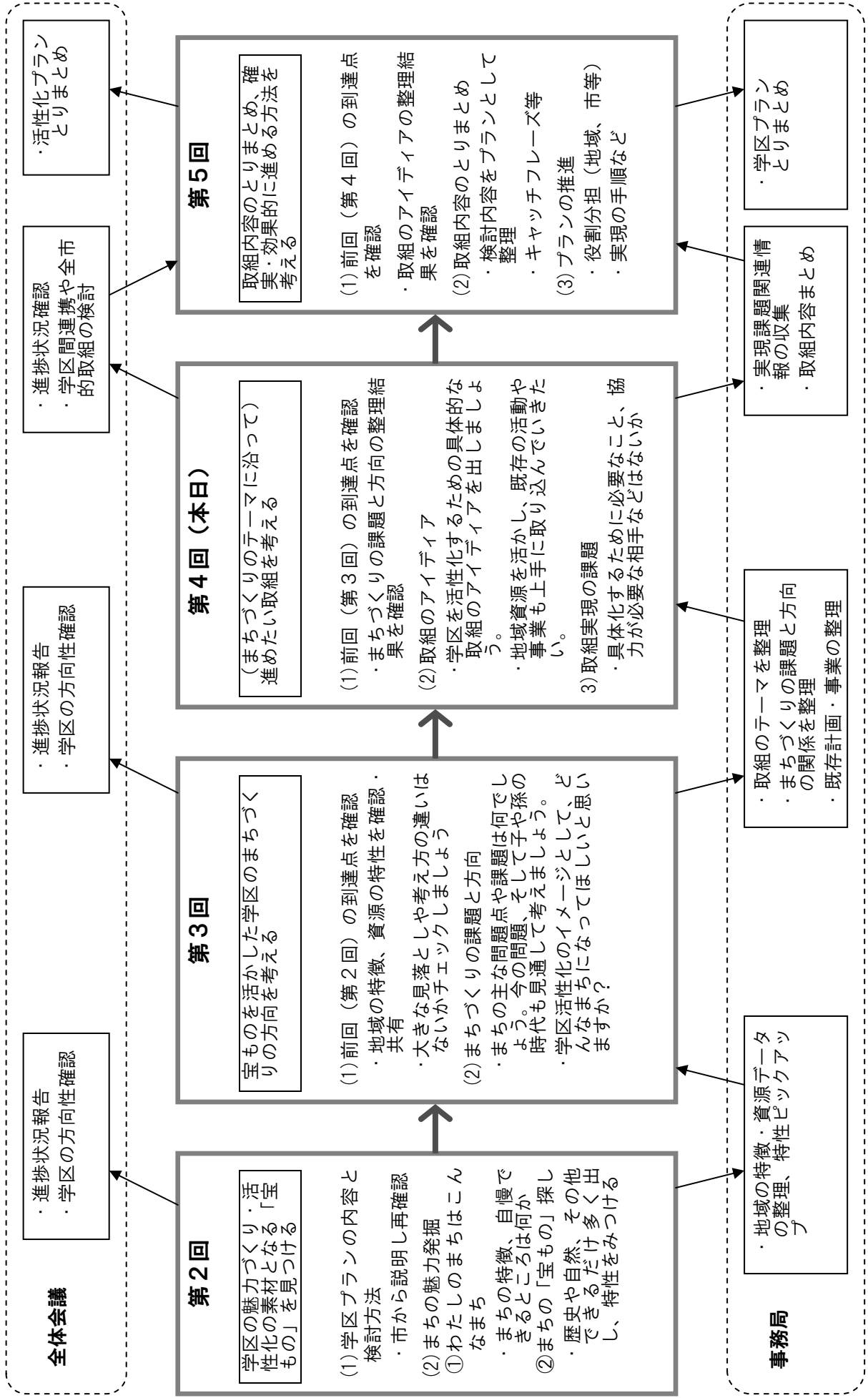
敬称略

No.	自治会	名前		性別
1	開発	芝田 八十司	しばた やそじ	男
2	開発	中井 智美	なかい ともみ	女
3	開発	岡本 善広	おかもと よしひろ	男
4	大曲	山本 光男	やまもと みつお	男
5	大曲	堀江 清	ほりえ きよし	男
6	大曲	山本 富夫	やまもと とみお	男
7	木浜	下村 清明	しもむら さやか	男
8	木浜	葭本 正昭	よしもと まさあき	男
9	木浜	下村 清武	しもむら きよたけ	男
10	木浜	中西 理津子	なかにし りつこ	女
11	社・ベラヴィータ守山	山岡 龍二	やまおか りゅうじ	男
12	社・ベラヴィータ守山	宮川 美紀子	みやがわ みきこ	女
13	社・ベラヴィータ守山	森神 亨	もりがみ とおる	男
14	美崎	山田 美鶴	やまだ みつる	女
15	美崎	苗村 寛	なむら ひろし	男
16	美崎	戸田 直弘	とだ なおひろ	男
17	美崎	伊藤 潔	いとう きよし	男
18	北川ニュータウン	岸 典生	きし つねたか	男
19	北川ニュータウン	堀尾 菊宏	ほりお きくひろ	男
20	北川ニュータウン	松本 理絵	まつもと りえ	女
21	今浜	今江 光夫	いまえ みつお	男
22	今浜	山田 良彦	やまだ よしひこ	男
23	今浜	野口 清英	のぐち きよえい	男
24	水保	今井 薫	いまい かおる	男
25	水保	西村 雅行	にしむら まさゆき	男
26	水保	小山 安男	こやま やすお	男
27	中野	中島 幸一	なかじま ゆきかず	男
28	中野	今井 孝雄	いまい たかお	男
29	中野	今井 満	いまい みつる	男
30	中野小林	佐々木 芳郎	ささき よしろう	男
31	中野小林	下川 博司	しもかわ ひろし	男
32	中野小林	赤尾 信廣	あかお のぶひろ	男

事務局

- ・濱崎一志（アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授）
- ・高谷 実
- ・坪内稔夫
- ・小野田 敦
- ・今井 剛
- ・吉原史雄
- ・奥村彰彦
- ・西藤安彦
- ・田淵誠一

学区別会議の進め方



守山まるごと活性化プラン検討委員会 学区別会議 ニュースレター

第 3 回 学区別会議 [速野学区]

平成 25 年 8 月 31 日（土）午前 9 時 30 分から速野会館において、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第 3 回学区別会議を開催しました。

速野学区にお住まいの住民 25 名にお集まりいただき、まず、前回会議で出された意見について、大きな見落としがないかなどふりかえりをしました。次に、学区のまちづくりを進めていく上の課題や方向性について話し合い、最後に参加者同士で共有しました。

学区別会議の様子

■当日のプログラム

- ①挨拶：山岡学区長より
- ②内容説明：会議当日のプログラム内容、第 2 回検討結果の説明
- ③テーブルに分かれて意見交換：『前回のふりかえり』、
『学区のまちづくりの課題と方向性』
- ④結果の発表・共有：テーブル毎で話し合った内容を発表して共有



▲ 4 テーブルに分かれて話し合いました

テーブル毎に速野学区の『まちづくりの課題と方向性』について話し合いました

- 3つのテーブルに分かれ、前回会議で出された速野学区の『良いところ』や『たからもの』の確認を行い、さらに、それらの特徴をもとに、『学区のまちづくりの課題』を話し合いました。
- 『たからもの』としては、地区内の神社仏閣や人が集う仕組みなどの項目で追加がありました。また、新たな項目として、速野学区の人口増加の大きな要因である「琵琶湖大橋」がありました。
- 『まちづくりの課題』については、「学区全体での人口増加の一方、新旧自治会間での人口構成の格差」が各テーブルとも共通してあげられ、それに起因する課題として「学区・自治会運営上の問題」「安心・安全面の不安」「自然や水辺の環境が活かされていない」などがあげられました。
- 『今後のまちづくりの方向性』としては、「世代間交流を促す」「新旧の特徴を活かす」「まちづくりに向けたしくみづくり」「自然環境を活かしたまちづくり」「安心・安全に暮らせるまちづくり」などがあげられ、中には具体的な提案も交えた意見も出されました。



▲ 出された意見は進行役が記録



▲ 類似の意見をグルーピング



▲ 成果を発表し参加者で共有

守山まるごと活性化計画 速野学区 第3回会議

1. 実施概要

学区・回	速野学区 第3回
日時	2013年8月31日(土) 9:30~11:30
会場	玉津会館
参加者	住民25人(開発2人、大曲3人、木浜3人、材・ペラ・グアイター守山1人、美崎4人 北川NT2人、今浜2人、水保3人、中野3人、中野小林2人) 守山市(高谷、今井、西藤、木村、坪内、吉原) 地域未来研究所(田淵、小野田、奥村、横山)
会場設営	4テーブルを配置。くじでテーブルを指定して着席
実施経過	<p>1. 挨拶</p> <p>①開会挨拶(坪内課長補佐)</p> <p>②開会挨拶(山岡学区長)</p> <p>2. 説明</p> <p>①本日のプログラム内容(田淵)</p> <p>②第2回検討結果の説明(田淵)</p> <p>3. 意見交換(テーブル別ワーク)</p> <p>①前回のふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議結果を整理した資料を見ながら、抜けているたからものの追加、分類の再検討を行った。 ・「人とひととのつながり」の項目では、「人が集い活動する機会」として、学区民のつどい、防災訓練、県有地という機会および場の追加、また「イベント・行事」として、5月祭、運動会、演芸会、文化祭が追加された。 ・「歴史ある伝統・文化」の項目では、「祭事」として漁港祭の追加のほか神輿巡行がレースではないという指摘があり、「神社仏閣」として福林寺、稲荷神社の追加があった。 ・「自然・住みやすい環境」の項目では、「景観・眺望」として浜ひるがお、湖辺の景色が、また地球市民の森のゾーン分けとしてふるさとゾーンが追加された。また「水にまつわる生活遺産」として小浜の県のモデル事業と水路が追加された。 ・「地域の生活・産業など」の項目では、「第一次産業」としていちご、無花果、菊、バラが、「食文化」として鮎寿司、鯉、小魚のあめだき、川魚を使った学校給食が追加された。また集客施設として、湖岸付近のサッカー場、ゴルフ場、飛行場

など近代的施設が複数追加された。

- ・また、速野学区の人口が急増するきっかけとなった「琵琶湖大橋」が地域にとって外せないものとしてあげられたほか、「湖周道路」「取り付け道路」が交差し県内でも重要な交通結節点であることがあげられた。

②学区のまちづくりの課題と方向

- ・今回は、自治会の枠を外してくじ引きで配席を決めたことにより、各テーブルとも新興住宅地の自治会住民と旧集落の自治会住民が入り交じって、それぞれの立場から意見がだされた。
- ・学区全体で人口は増加しているものの、新自治会では子どもも増えているのに対し旧自治会では少子高齢化という格差の顕在化と、それに伴う様々な課題について意見が交わされた。
- ・課題のカードは模造紙に貼り、グルーピングして概略の特徴を整理した。

4. 結果の発表・共有

- ・テーブル毎に参加者の代表が地域の課題、課題に対応するための方針について検討結果を発表。
- ・各テーブルとも通して、中でも「全体的な人口の増加と新旧自治会間での人口構成の格差」が各テーブルとも共通してあげられ、それに起因する学区・自治会運営上の問題、安心・安全面の不安、自然や水辺の環境が活かされていないことなどがあげられた。
- ・今後のまちづくりの方向性として、「世代間交流を促す」「新旧の特徴を活かす」「自然環境を活かしたまちづくり」「安心・安全に暮らせるまちづくり」などが、具体的な提案も交えてあげられた。

5. その他

- ・次回会議の開催日時は、9月上旬に開催される自治会長会議にて決定する。

第3回速野学区会議の様子



2. 第3回学区会議の意見まとめ

地区のまちづくりの課題や方向性をまとめた。

<速野学区のまちづくりの課題>

■増えている人口 ～新旧の自治会で格差が拡大～

- ① 新自治会では、人口が増えているものの昼間は高齢者が多く防犯上の不安がある。
- ② 旧自治会では少子高齢化が進み、農業の後継者確保や地域行事の継承が課題である。
- ③ 新旧自治会に共通して、世代間交流の促進、共同体意識の向上が課題である。

■学区・自治会運営上の諸問題 ～規模の大きさ、新旧混在などに起因～

- ④ 学区や自治会の役員にかかる負担が大きくなっている。
- ⑤ 世代交代が停滞しており、新たなリーダーの育成、若い人や女性の参画促進が課題である。

■防災・防犯・安全の確保 ～末永く安心して暮らしたい～

- ⑥ 学区レベルでの防災訓練の実施や避難所の確保など、地域防災への取り組みが課題である。
- ⑦ 公共交通の利便性が低く、車を運転できない高齢者の通院などが問題となっている。
- ⑧ 狭隘な生活道路を抜け道として利用する車が多く、交通事故の危険性が高い。

■都市構造・公共施設 ～13,000人が暮らす学区に相応しい施設を～

- ⑨ 速野会館が狭く、学区内の文化・教育系施設も貧弱である。
- ⑩ 琵琶湖大橋や湖周道路による通過交通の足を止めさせる集客施設が必要である。
- ⑪ 広すぎる町域、住居表示など、古くからの形態による不便が多く残っている。

■自然・景観・水環境の保全・整備 ～恵まれているのに活かせていない～

- ⑫ 旧野洲川の地球市民の森は雑草が生い茂り、不法投棄も増加するなど、管理が十分でない。
- ⑬ 琵琶湖、木浜内湖、大川、大正堀などせっかくの水辺の環境を活かしきれていない。
- ⑭ 湖岸の浜ひろがお、なぎさ公園の砂浜の保全が必要である。

■地域への愛着 ～愛郷心、誇りを醸成するものが少ない～

- ⑮ 自治会レベルの祭事はあるが、学区全体での祭事が少ない
- ⑯ 守山市民としての郷土愛を抱かせるものがない

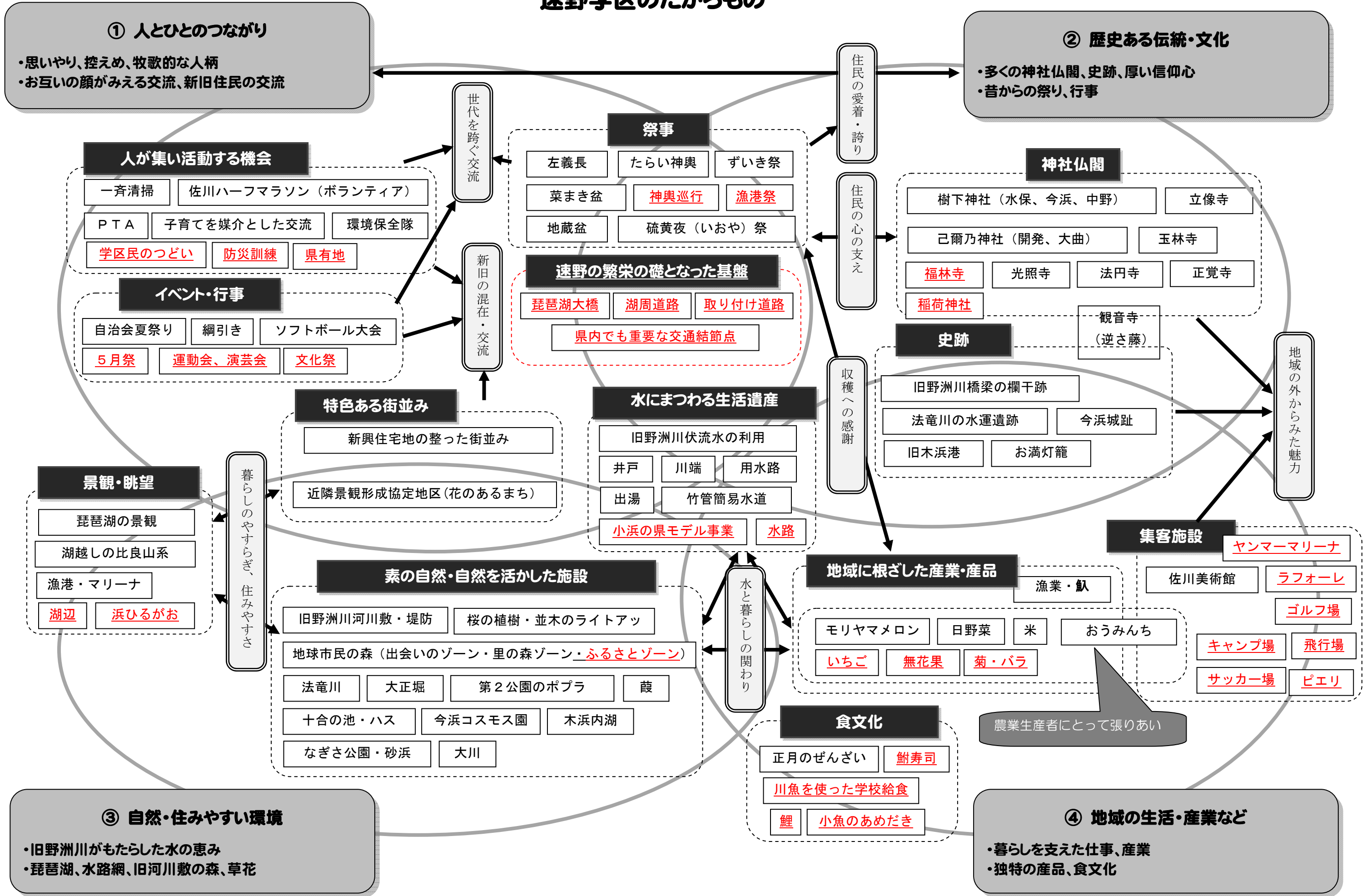
2.1 地域のまちづくりの課題、方向

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
<p>増えている人口 ～新旧の自治会 で格差が拡大～</p>	<p>新興住宅地：市街化区域の新自治会は人口が増加、子どもも増加 小学校が大規模化している ゴミの出し方の意識がなっていない 屋間の人口は高齢者が中心で防犯上不安 新興住宅地の将来の高齢化が不安 個人情報保護の壁があり転入者の顔がみえない 旧集落：市街化調整区域の旧自治会は少子高齢化 農業の後継者不足 神輿の担ぎ手がいない 旧自治会での祭事等の継続が困難 伝統的な事柄を継承する場がない 新旧共通：世代間交流が不足 共同体としての意識が低い 婦人会・老人会・子ども会の活動が停滞気味 自治会と学区の活動で自治会長が多忙 学区の役員にとって役割が負担になっている 自治会によって役員の選出方法が異なる 年齢毎の順送りがない 先駆者のリーダーの継承が必要 役員に若い人や女性の参画が必要 過剰な個人情報保護によるコミュニケーション低下および情報周知力の低下 学区のまちづくり組織に生涯学習の切り口が少なく、組織の見直しが必要 市の思いと学区組織と自治会組織がつながることが大切</p>	<p>○世代間交流の場所や機会をつくり、交流を促進 ○学区全体での課題共有・解決策の模索 ○子育て世代を支援する環境の整備 ○地場産業、農漁業の活性化</p>
<p>学区・自治会運営 上の諸問題 ～規模の大きさ、 新旧混在などに 起因～</p>	<p>○世代間交流の場所や機会をつくり、交流を促進 ○学区全体での課題共有・解決策の模索 ○まちづくりの仕組みづくり、活性化の実行部隊づくり</p>	<p>○世代間交流の場所や機会をつくり、交流を促進 ○学区全体での課題共有・解決策の模索 ○まちづくりの仕組みづくり、活性化の実行部隊づくり</p>

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
防災・防犯・安全の確保 ～末永く安心して暮らしたい～	学区レベルの防災訓練必要 避難場所が必要 駅からのアクセスがよくない バスの便が少なく、高齢者の通院に困る 車がないと生活できない 交通渋滞 生活道路を抜け道として利用する車が増加 人口の増加に道路整備が追いつかず、狭隘な道路が多い 自治会によっては小中学校への距離が長く安全上問題	○民間施設を活用した避難場所の確保 ○公共交通の利便性向上による車に頼り過ぎない環境づくり ○人口増に対応した生活関連施設の整備
都市構造・公共施設 ～13,000人の学区に相応しい施設を～	速野会館が狭い、駐車場も少ない 文化・教育施設が貧弱 速野会館内に図書室がほしい 琵琶湖大橋があるが、通過する地になっている 人の足を止める場、集める場がない 観光施設はあるが活かされていない 町域が広く、住居表示がわかりづらく、速野学区のどこにいいのかからない 北川水利組合の給水開路が都市化を妨げている	○取り付け道路沿道の活性化 ○ネオピラ横の県有地等の有効活用 ○琵琶湖大橋付近に「道の駅」 ○「おうみんち」の琵琶湖版のような施設
地域への愛着 ～愛郷心、誇りを醸成するものが少ない～	自治会レベルはあるが学区全体での祭事が少ない 守山市民としての郷土愛を抱かせるものがない 守山市の知名度低い 小学生へ地域の歴史教育を	○速野に暮らすよるこび、愛郷心を醸成する取り組み ○旧集落の史跡や歴史資源の魅力を内外に伝える仕組み

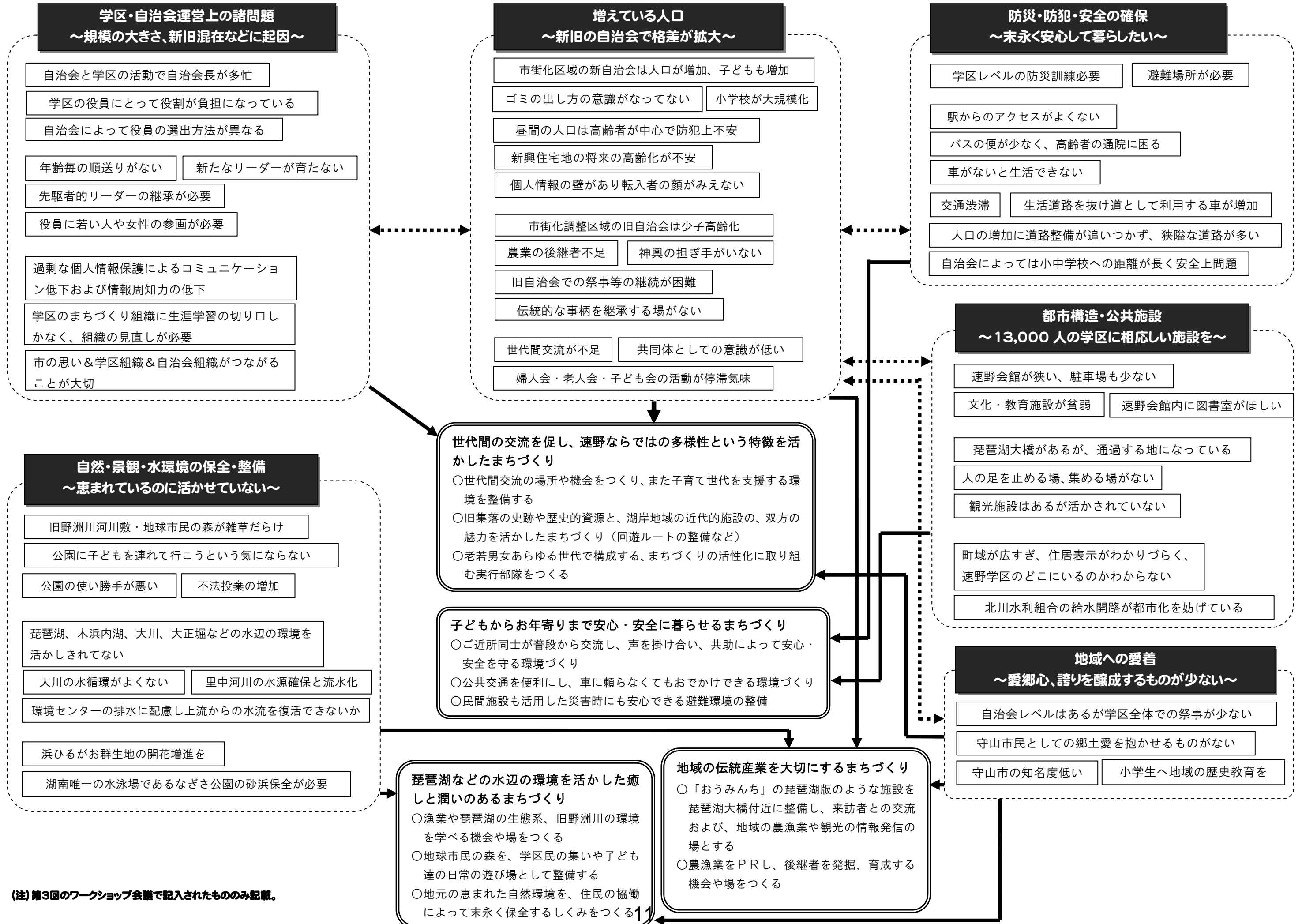
学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
自然・景観・水環境の保全・整備 ～恵まれているのに活かせていない～	旧野洲川河川敷・地球市民の森が雑草だらけ 公園に子どもを連れて行こうという気にならない 公園の使い勝手が悪い 不法投棄の増加 琵琶湖、木浜内湖、大川、大正堀などの水辺の環境を活かしきれない 大川の水循環がよくない 里中河川の水源確保と流水化 環境センターの排水に配慮し上流からの水流を復活できないか 浜ひるがお群生地の開花増進を 湖南唯一の水泳場であるなぎさ公園の砂浜保全が必要	○漁業や琵琶湖の生態系を学べる場 ○小学校グラウンドと地球市民の森の連携 ○地球市民の森で学区民のつどいを ○サイクリングロードの整備 ○木浜内湖を整備 ○みさき公園のPR・活用（キャンプ・BBQ）

速野学区のたからもの



(注) 第2回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。赤字は第3回会議での追加・修正意見

速野学区の課題・活性化の方向性



第2回と第3回の成果を踏まえ、第4回は速野学区を活性化する取り組みを考えます

第2回 学区の特徴とたからもの

特徴
 ① 人とひとのつながり
 伝統・文化
 ② 歴史ある伝統・文化
 ③ 自然・住みやすい環境
 ④ 地域特有の生活・産業など

たからもの

- **人が集い活動する機会**
 ・一斉清掃、PTA、子育てを媒介とした交流環境保全隊、防災訓練など
- **イベント・行事**
 ・自治会夏祭り、綱引き、ソフトボール、5月祭、運動会、演芸会、学区民の集い、文化祭など
- **祭事**
 ・左義長、たらい神輿、ずいき祭、菜まき盆神輿巡行、地藏盆、硫黄夜祭、漁港祭など
- **神社仏閣**
 ・樹下神社(水保、今浜、中野)、立像寺、玉林寺、己爾乃神社(開発、大曲)、福林寺、観音寺、稲荷神社、光照寺、観音寺、法門寺など
- **史跡**
 ・旧野洲川の欄干跡、法竜川の水運遺跡、今浜城趾、旧木浜港、お満灯笼など
- **水にまつわる生活遺産**
 ・旧野洲川伏流水、井戸、川端、用水路、出湯、竹管簡易水道、小浜の県モデル事業など
- **特色ある街並み**
 ・新興住宅地の整った街並み、近隣景観形成協定地区(花のあるまち)
- **景観・眺望**
 ・琵琶湖、湖越しの比良山系、漁港・マリナ、湖辺、浜ひるがお など
- **素の自然・自然を活かした施設**
 ・旧野洲川河川敷・堤防、桜並木(ライトアップ)、地球市民の森(出会いの森・里の森・ふるさとゾーン)法竜川、大正堀、十合の池、今浜コスモス園、葎、木浜内湖、大川、なぎさ公園など
- **食文化**
 ・鮎寿司、川魚を使った学校給食、鯉、小魚のあめだき、正月のぜんざい など
- **地域に根ざした産業・産品**
 ・漁業・鮎、モリヤマメロン、日野菜、米、いちご、無花果、菊、バラ など
- **集客施設**
 ・おうみんち、佐川美術館、ヤママリナ、キャンプ場、サッカー場、ゴルフ場、ラフォーレ、ピエリなど
- **速野の繁栄の礎となった基盤**
 ・琵琶湖大橋、湖周道路、取付道路、県内でも重要な交通結節点

第4回 速野学区活性化の取組

「たからもの」と「まちづくりの方向」を関連づけて、どんなことができるか、何をしたら学区が元気になるか、考えてみてください！
これは例です、参考にどうぞ。

【活用するたからもの】
神社仏閣、旧木浜港、佐川美術館、湖岸の眺望 など

【活性化の取り組み】
旧集落の史跡や歴史的資源と、湖岸地域の近代的施設の、双方の魅力を活用する
・地元の人も来訪者も気軽に散策できる安全な回遊ルートの整備
・地域の歴史を学ぶ場の創生 など

【活用するたからもの】
食文化、地域に根ざした産業・産品、琵琶湖大橋 など

【活性化の取り組み】
地域の農漁業を地域内外にPRする
・人が集まる琵琶湖大橋付近の遊休地、遊休施設を活用
・農漁業や自然を学ぶ場の創生 など

第3回会議ではすでにこんなアイデアが出ています。これらをもっと具体的にすることも考えましょう！

＜第3回会議で出て頂いた取り組み＞

- ・まちづくり活性化に取り組む実行部隊づくり
- ・世代間交流の場所や機会づくり
- ・子育て世代を支援する環境づくり
- ・民間施設を活用した避難所
- ・公共交通でおでかけできる環境づくり
- ・農漁業の後継者発掘・育成の場づくり
- ・琵琶湖大橋付近に「おうみんち」の琵琶湖版施設
- ・里中河川の流水化
- ・上流からの水流の復活
- ・浜ひるがお群生地の開花増進
- ・小学生への地域の歴史教育
- ・地元の恵まれた自然を住民の協働で末永く保全するしくみづくり など

第3回 学区の課題とまちづくりの方向

まちづくりの方向

- **世代間交流を促し、速野ならではの多様性という特徴を活かしたまちづくり**
- **子どもからお年寄りまで安心・安全に暮らせるまちづくり**
- **琵琶湖などの水辺の環境を活かした癒しと潤いのあるまちづくり**
- **地域の伝統産業を大切にすまちづくり**

課題

- **増えている人口**
 ～新旧の自治会で格差が拡大～
 ・市街化区域は人口増、子どもも増
 ・昼間は高齢者ばかりで防犯上不安
 ・転入者の顔が見えない
 ・市街化調整区域は少子高齢化
 ・農業後継者が不足
 ・伝統行事の継承者・継承の場がない
 ・世代間交流が不足
 ・共同体としての意識が希薄 など
- **学区・自治会運営上の諸問題**
 ～規模の大きさ、新旧混在等に起因～
 ・自治会と学区の活動で自治会長が多忙
 ・学区の役員にとって役割が負担
 ・順送りがない、新たなリーダーが育たない
 ・役員に若い人や女性の参画が必要
 ・過剰な個人情報保護によるコミュニケーション
- **防災・防犯・安全の確保**
 ～末永く安心して暮らしたい～
 ・学区レベルでの防災訓練や避難場所が必要
 ・バスの便が少なく高齢者の通院に困る
 ・車がないと生活できない
 ・生活道路を抜け道利用する車が多い
 ・人口増に追いつかない道路整備
 ・通学距離が長く交通安全上問題 など
- **自然・景観・水環境の保全**
 ～恵まれているのに活かしていない～
 ・旧野洲川・地球市民の森が雑草だらけ
 ・公園の使い勝手が悪い
 ・不法投棄の増加
 ・琵琶湖、木浜内湖、大川、大正堀などの水辺の環境を活かしきれてない
 ・大川の水循環がよくない
 ・なぎさ公園の砂浜保全が必要 など
- **都市構造・公共施設**
 ～13,000人の学区に相応しい施設を～
 ・速野会館が狭い、駐車場も少ない
 ・文化・教育施設が貧弱
 ・通過する人の足を止める場、集める場がない
 ・観光施設が活かされていない など
- **地域への愛着**
 ～愛郷心・誇りを醸成するものがない～
 ・学区全体レベルでの祭事が少ない
 ・市民としての郷土愛を抱かせるものがない
 ・守山市の知名度が低い

(注) 第2,3回のワークショップ会議で記入されたものから抜粋